

北原ヒロシ企画 「H.K.T. 2017」

1 R 「少女以上の字が読みたい」

ペーパークイズ。1問2p × 20問 + 近似値問題3問、制限時間は5分。

但し、近似値問題は時間内に解かなくても良いものとする。

以下のルールの記事で“近似値順”とは、近似値問題 (1) の誤差が小さい > 近似値問題 (2) の誤差が小さい > 近似値問題 (3) の誤差が小さい順を意味する。

《依頼》ペーパーの採点、及び、結果の提出は2Rで参加していない組のときをお願いします。

2 R 「追熟 QUIZZER」

組別早押し。参加者を無作為に3組に分け、それぞれ25問限定3〇2休。

勝ち抜けが早い > 正解数が多い > 誤答が少ない順で1～5位を決める。

※5名が勝ち抜けても、25問まではクイズを続行する。

※1位から順に30p, 25p, 20p, 15p, 10pが入る。6位以下で勝ち抜けたら一律5p。

3 R コース別

各コースとも10名を定員とし、3コースに振り分ける。

※コースの希望は、1Rの結果、近似値問題の解答と共に提出する。

※2Rで勝ち抜け > 1Rの点数が多い > 近似値順で、コースの希望を優先し、振り分ける。

※各コースとも5位までを決定し、2Rと同様のDPが入る。

3 R-A 「たいとる解析学」

アウトロクイズ（曲の末尾部分を再生し、曲名を答える）。25問限定3〇2×。

※音源は事前に20～40秒程度になるよう編集したものを使用する。

尚、最後の歌詞から後のメロディが長い場合は、企画者の裁量でフェードアウトさせている。

※問題傾向は企画者の趣味（萌えアニメ&昭和歌謡）にやや偏り気味である。

3 R-B 「変化全開 HEY!HEY!HEY!」

変化球クイズ。30問限定3〇N休（N回目の誤答でN問休み）。

3 R-C 「Certain Picture, Certain Prefecture!」

3枚の写真から、どの都道府県かを当てるビジュアルクイズ。

参加者には8枚の解答用紙を事前に配布する。

第1ヒント、第2ヒント、第3ヒントのそれぞれで約20秒のシンキングタイムを設ける。

そのヒントの時点で解答したい場合は、所定の用紙に答えを記入して提出する。

※シンキングタイム終了の時点で書き終えており、その後に加筆修正がされていない場合は提出可能。

1セット内で何回でも解答することができるが、1ヒント当たり1回のみ解答できるものとする。

正解した場合は、そのセットの解答権を失う。誤答ペナルティは無い。

解答用紙を全て使い切った場合は、次のヒント以降の解答権を失う。

第1ヒント正解：+4点（単独正解なら更に+1点）

第2ヒント正解：+3点

第3ヒント正解：+2点

少数正解ボーナス：+1点（第3ヒント終了時、そのセットの正解者が参加者の半数未満の場合）

準決勝戦 「タクイツだったらダイジョウブ！」

予選のDP合計上位8名が準決勝戦に進出する。

※ボーダーライン上で複数名が並んだ場合、10問限定1〇1×を行い、勝ち抜けた者が準決勝進出。

2択（〇×クイズを含む）サバイバル。また、以下の要領で、準決勝戦と同時並行で敗者復活戦を行う。

- ① 2択問題を出題する。不正解なら以降の解答権を失う。
- ② 決勝進出が決定した者+準決勝組の正解者が4名以下の場合、準決勝組の正解者は決勝進出。
- ③ ②の時点で決勝進出者が3名以下、且つ、敗者復活組で正解者が1名の場合、敗者復活組で正解者は決勝進出。
- ④ 準決勝組から決勝進出者が誕生した場合、若しくは準決勝組が全滅した場合、準決勝組は決勝進出者を除いて全員解答権が復活する。

※以上の流れを、決勝進出者が4名決まるまで続行する。

※敗者復活組は、一度解答権を失うと、それ以降に復活することは無い。

※限定問題数10問が尽きた時点で決勝進出者が3名以下の場合、予選DPが多い>近似値順で、決勝進出者が4名となるまで補充する。

決勝戦 「Step! ZERO to SEVEN」

40問限定7〇3×。

問題または時間*1が尽きた場合、正解が多い>誤答が少ない>準決勝と同様の基準で順位を決定する。

【短縮ルール】

3R終了の時点で19:25を過ぎている場合、準決勝戦を行わず、予選上位8名で決勝戦を行う。

その場合、決勝戦のルールは連答付き5〇2×とし、

予選1～3位は1〇アドバンテージ、予選1位は連答権を持った状態で開始する。

*1 企画者の手元の時計で19:53を過ぎたとき、新たに問題を読むのを止める

【正誤判定基準（人名）】

1. 日本人、中国人（台湾を含む）、朝鮮人は原則としてフルネームで答えなければならない。それ以外の地域の人は、特にファーストネームを要求していなければファミリーネームのみで可。
Example: “御法川法男”は“みのもんた”でも可、“油トカゲ”は仮名なので不可。
2. 芸名、ペンネーム、スポーツ選手の登録名（四股名を含む）、宗教関係の名前は可とする。
Example: “ダニエル=イヴァノフ”は“イヴァノフ”“碧山”“碧山巨右”のいずれも可。“アグネス=ゴンジャ=ボヤジュ”は“マザー=テレサ”でも可。
3. 映画、ドラマや漫画、アニメ等の登場人物は、作中で十分に通用する呼称は可。
Example: “剛田武”は“ジャイアン”でも可。

【正誤判定基準（地名）】

1. 原則として“県”や“市”等も付けなければならない。但し、明らかな場合は省略可。
Example: “福岡県”を問う問題で“福岡市”は不可、“何県？”に対してなら“福岡”のみでも可。
2. 国名は十分に通用する呼称であれば、正式名称でなくても構わない。頭文字略称は不可。
Example: “グレートブリテン及び北アイルランド連合王国”は“イギリス”でも可、“UK”は不可。
3. 歴史問題に関しては（どちらかを要求していなければ）現在の地名でも当時の地名でも良い。
Example: “蝦夷地”は“北海道”でも可。

【正誤判定基準（作品名や曲名等）】

1. 副題は無くても可。但し、副題を答え、且つ誤った場合は不可。
2. シリーズ名、ヴァージョン名は副題として扱う。
Example: 『美少女戦士セーラームーンR』を『美少女戦士セーラームーン SuperS』と答えるのは不可、『美少女戦士セーラームーン』なら可、『セーラームーン』のみは不可。
3. 略称や俗称、愛称等は不可。邦題は可。
Example: 「Caramelldansen (Speedycake Remix)」は「Caramelldansen」のみでも可、「ウツウツウマウマ (♡♡)」は邦題でないの不可。
4. クラシックの曲名は、凡そ伝わる名称で良い。調^{*2}や作品番号^{*3}は省略可。
Example: ベートーヴェンの「交響曲第5番 ハ短調 作品67」は、「運命」でも可^{*4}、「ベートーヴェン 交響曲第5番」でも可。

² ●長調や●短調

³ 楽曲に付される番号（ケッヘル番号やリオム番号等を含む）、一般に通用する題名が存在しない場合は省略不可

【正誤判定基準（会社名や団体名等）】

1. 会社名は一般に通用する呼び名で良い。但し、蔑称は不可。
Example: “株式会社ギュギュギュギュギュイーン”は“ギュギュギュギュギュイーン”のみでも可。
2. スポーツのチーム名は愛称のみでも良い。球団名は所有会社名も可。地名のみは不可。
Example: “アビスパ福岡”は“アビスパ”でも可だが、“福岡”のみは不可。
3. 国際組織は略称でも日本語名でも良い。
Example: “国連教育科学文化機関”は“UNESCO”でも可。

【正誤判定基準（数値）】

1. 明示が無い場合、年は原則としてグレゴリオ暦を用いる。グレゴリオ暦を採用していなかった時代に関しては、その時代もグレゴリオ暦を採用していたと見做す（現在までの経過時間を減算して求める）。
Example: 御成敗式目制定の貞永元年8月10日は、グレゴリオ暦換算で1232年8月27日として扱う。
2. 特に断らない限り、数値は標準的な実数体 \mathbb{R} の10進表記を用いる。但し、小数点以下のある桁より下位が全て9となる無限循環小数は認めない。必要に応じて複素数体 \mathbb{C} の使用を認めるが、虚数単位は i とする。また、四則演算は複素数体の標準的な加法、乗法（及び、その実軸上への制限）を採用する。
Example: $0.99999999 \dots = 1$ であるが、前者の表記は不可、この値は有限小数（後者）のみ可とする。
3. 数値を書いて解答する場合、企画者が理解し、速やかに正誤判定できる全ての演算を認める。但し、“分枝が発生し、且つ、明記が無い場合”や“不定形となる場合”は無解答として扱う。また、底の明記の無い対数関数 \log は自然対数と見做す。
Example: 0^0 は不定形なので無解答と同等の扱いとする。 $\log(-1)$ は、無限多価（無限通りの値を持つもの）であり、原則として認めないが、 \log の分枝を明記した場合に限って認める。

【正誤判定基準（表現揺れ）】

1. “ジ”と“ヂ”、“ズ”と“ヅ”は、正確さを要求しない限り同一視する。
Example: “ジプチ”は“ヂプチ”でも可。
2. 表記（表現）の揺れは、概ね通用すると判断できる場合は許容する。例として、以下の表の左側の表記は右と同一と判断する。但し、あまりにも不自然だと判断される場合は、右側の表記を左のもので置き換えることを許容しない。

ヴァ ⇒ バ	ヴィ ⇒ ビ	ヴ ⇒ ブ	ヴェ ⇒ ベ	ヴォ ⇒ ボ
ヴョ ⇒ ボ, ビョ	フュ ⇒ ヒュ	フョ ⇒ ヒョ	テュ ⇒ トウ	ドウ, デュ ⇒ ド
キ ⇒ イ	エ ⇒ エ			

Example: “ズヴォズダチカ”は“ズボズダチカ”でも可。“高田馬場”を“タカダノヴァヴァ”と表記するのは不可とする。